

# 第一回 千葉県ダブルダッチ協会 超会議 議事録

開催日時：平成 26 年 2 月 15 日 13:30～17:00

会場：翔洋学園高等学校千葉校

## 参加者 21 名

アツシ (AT-OUT)  
ユメ・ちゃんイー (麗澤大 ReiB)  
しよーご (千葉大 AX)  
及川 (キッズチーム ZERO-ONE 責任者)  
こころ・もろ (麗澤大 ReiB OG/社会人縄日)  
小田原時恵(母) (鎌ヶ谷市 元青少年相談員)  
小田原将司 (鎌ヶ谷市在住高校生)  
森 (映像制作プロデューサー/ディレクター)  
りょー・ユナミ・にっしー (津田沼高校ぴょん)  
高橋 (親子サークルはびすま)  
だいち (小学校教諭)  
よねっち (Fine-P 保護者代表)  
タロー (イベントオーガナイザー/Humanbeatboxer)  
世古・長谷川 (翔洋学園高等学校)  
タカ (AT-OUT/groovy オーガナイザー)  
しよーいち (超三流/ダブルダッチスクール STEPUP 代表)

※通称表記・敬称略

## 議事内容

1. 開会のあいさつ
2. 参加者自己紹介
3. 千葉県ダブルダッチ協会 活動概要説明
4. 議題提示
  - ・現状の活動シーンの課題について
  - ・千葉県ダブルダッチ協会に求められることについて
  - ・ダブルダッチ協会の運営課題について
5. 提案/意見 議論 (フリートーク)
6. 閉会のあいさつ
7. 懇親会

## 議事録

### 3. 千葉県ダブルダッチ協会 活動概要説明（会長：しょーいち）

- 統率ではなく横のつながりを深める方針。その中で日本一面白いシーンをつくる
- 普及活動ベースにプレイヤーの支援や千葉への貢献を CDDA 独自のカラーにしたい
- 横のつながりのツールとして HP やメルマガを用意。敷居低く参加を募る。
- 今後は年 3・4 回の定例会の中で年間活動計画や、運営方法を協議していきたい。
- 「ダブルダッチ普及の千葉県支部」ではなく、千葉のカルチャー・シーンづくりのダブルダッチ担当セクションになりたいというイメージで CDDA を立ち上げた。

### 4. 議題提示

#### ・現状の活動シーンの課題について

##### ➤ 練習環境について

- ・ 屋内の練習場所が安定して確保できない
- ・ 屋内の練習場所を共有することは出来る
  - 屋内の練習場所を共有する方法があると良い
- ・ 縄跳びが床を傷つけるなどと誤解され使えない施設もある
- ・ 小学校は使える可能性がある
- ・ 社会人になるとメンバーが集まらず練習ができない

##### ➤ 大会や出演機会について

- ・ 学内のイベントに出演している
- ・ 地域のお祭りやイベントに出演している
- ・ コンテストやディライトなどの全国規模の公式戦に出演している
- ・ 大きい大会（コンテストやディライトなど）には出にくい
  - やむを得ず母校のイベントに出ているケースもある

##### ➤ Let'sPlay ダブルダッチなど（都内のシーン）への参加について

- ・ 千葉からの参加者はまだ一部であり、もっと出ていくべき
  - 実力者や有名チームから指導や情報を得られ、交流も広がる
  - 積極的な参加や団体登録、スタッフとしての参加も検討している
- ・ ハードルを感じる
  - ひとりで行くと少し疎外感を味わう不安感もある
  - 大人や中級者が参加しづらい雰囲気もある
  - いろいろなレベルの人が混在しているので、有益かどうかは場合による
  - 距離が遠く、交通費・時間の問題もあるため頻繁には参加出来ない
- ・ 技術や情報を教わる場が、もっと身近なところにあると良い

➤ダブルダッチが閉鎖的な件

- ・ダブルダッチはダブルダッチの中だけでやっている感じがしてもったいない
- ・小学生もまだまだほとんどが知らない。知れば興味を持つのに
- ・小学校のPTAではイベントづくりが課題なのでそういった場も舞台になるかも
- ・入場無料のイベントだと外部の人に見てもらおうきっかけになる (ex: 国体)

・千葉県ダブルダッチ協会に求められることについて

(プレイヤーの環境改善に関すること)

- 練習場所が安定して確保できない課題について、練習場所やスケジュールの共有ができないか
- 大学祭などの学内イベントが他校と重なっているのでお互いに見せ合える場を作れないか
- 所属団体の枠を超えてイベントなどに出るきっかけが欲しい
- ダブルダッチバトルをやりたい  
(普及に関連すること)
- 小さい子などが始めるきっかけになるような「敷居を下げた見せる場」づくりも必要
- 学生が小さい子や初心者に対して教える側に立っていけるようになることも必要
- 出演情報などのスケジュールが一元化されてわかる場があると、新たにダブルダッチに興味を持った人が見に行くことが出来、広がるきっかけになる
- 広めていくためには、ショーの「定番ネタ」を作りそのネタを普及するのも良いのでは

・ダブルダッチ協会の運営課題について

- 出演依頼や講師依頼を CDDA で受けた時にどう応えていくか
  - ・応じてくれるプレイヤーの交通費くらいは CDDA で保証できる体制を作りたい
  - ・その費用を依頼主から予め提示して頂戴するルールを作るとき、クオリティをどう担保するか
- 出演依頼や講師依頼の謝礼金 (の余剰分) を CDDA の活動資金にすることが可能か？
  - ・現状各団体で受けている依頼はボランティアも多く、難しいかもしれない
  - ・現状ご好意で頂いているだけのお金を活動資金として計上するのは不安定ではないか
  - ・既存サークルの中には一律で経費を集金した際の剰余金を活動費に充てているところもある
    - 一方で内部で徴収する場合、用途に必要性を感じないと払うことに疑問を持つ層も必ず出る
  - ・地域企業に助産会員 (スポンサー) になってもらうような方法もありかもしれない

5. 提案/意見 議論 (フリートーク)

- ・ゲリラパフォーマンスをすることで目につき認知度向上にもつながるのではないか
- ・誘い込みたい層を明確にし、ターゲットに合わせて時間帯や場所を考えてはどうか
- ・参加者の安全を担保する仕組みも必要ではないか (見知らぬ子のケガ等の場合も含めて)
  - 団体保険が割と融通が利いて扱える
- ・かつてダブルダッチの活動カレンダーの様なサイトがあったが、誰も書き込まないため廃れた

## 総論・所感

練習場所を安定して確保することが出来ていない件は概ねシーン全体の課題と言える。また、善し悪しはともかくまだまだダブルダッチは閉鎖的で、一般の方には認知されておらず、認知の機会を増やすこと、ダブルダッチ界の外へ露出していくことも課題と考えられる。

上記含めた各課題に対して CDDA が行うべきことについての意見は、たくさん具体的に上がったので、今後一つずつ精査し、可能なところから早速実施していきたい。他方、依頼対応や資金調達など運営に関する課題についてはまだまだ検討の余地があるように感じられた。

## 連絡・お願い事項

千葉県ダブルダッチ協会は、あくまでも千葉のダブルダッチ関係者皆でつくっていく存在でありたいというのが真意です。代表者会議の場としてのみの存在にはなりたくないと切に願っています。この場で議題にあがった内容、顔ぶれや空気感等は、是非皆様が代表してご参加下さった所属団体のメンバーの方々とも共有をお願いすると同時に、興味を持たれた方に対しては是非気軽にご参加を促して頂ければ幸いです。

なお、実際の運用は今後の検討を経てになりますが、CDDA の「プレイヤー登録」(メルマガ・LINE) が現状の情報共有ツールになりますので、こちらの方も各団体様内での共有とご登録をお願い致します。

以上